



川土居小学校
紅白対抗大運動会
(16ページ参照)



西川町 議会だより

初めての議会報告会を10月に開催
(15ページ参照)

- ・ 9 月 定 例 会 2～3
- ・ 決算特別委員会での質疑応答 4～5
- ・ 一 般 質 問 6～11
- ・ 議 会 の う ご き 12～15
- ・ 「究める・人」シリーズ No.14 16

2010.10.15 **74**

発行 山形県西川町議会

平成21年度決算

町税9億円に届かず 対前年度4480万円の減

地方交付税が44%を占める

一般会計、特別会計決算状況

会 計	収入決算額	支出決算額	差引 残額	採決の結果	
一 般 会 計	55億1194万円	52億3007万円	2億8187万円	賛成8人 反対1人	
特 別 会 計	国民健康保険 事業勘定	7億3186万円	6億3432万円	9754万円	賛成8人 反対1人
	国民健康保険 施設勘定 (大井沢歯科診療所)	337万円	330万円	7万円	
	老人保健	383万円	276万円	107万円	全員賛成
	簡易水道	3329万円	2910万円	419万円	全員賛成
	路線バス事業	5757万円	5756万円	1万円	全員賛成
	公共下水道事業	3億3627万円	3億3505万円	122万円	全員賛成
	農業集落排水事業	2829万円	2805万円	24万円	全員賛成
	寒河江ダム周辺施設管理事業	407万円	391万円	16万円	賛成8人 反対1人
	後期高齢者医療	7660万円	7645万円	15万円	賛成8人 反対1人
	介護保険	5億8974万円	5億8229万円	745万円	全員賛成
	宅地造成事業	0万円	0万円	0万円	全員賛成
合 計	73億7683万円	69億8286万円	3億9397万円		

※金額は、すべて万円未満を四捨五入して表示しています。

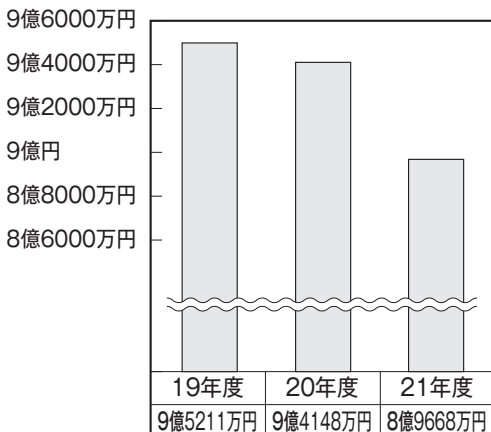
病院、水道事業会計決算状況

会 計	収 入	支 出	採決の結果	
病院事業会計	収益的	7億6002万円	7億4019万円	全員賛成
	資本的	535万円	5137万円	
水道事業会計	収益的	1億3746万円	1億1287万円	全員賛成
	資本的	7264万円	1億2147万円	

※金額は、すべて万円未満を四捨五入して表示しています。

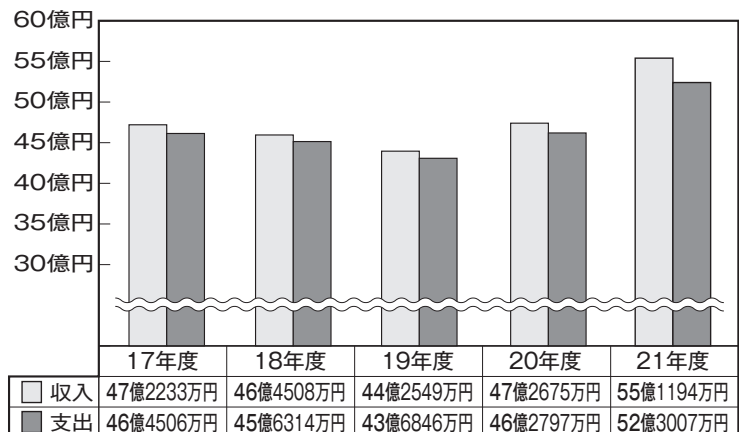
9月2日から10日までの9日間、平成22年第3回定例会を開き、平成21年度の一般会計、10の特別会計、病院および水道事業の決算を認定したほか、請願1件を賛成多数（賛成8人、反対1人）で採択しました。また、町長が提出した副町長の人事案は賛成多数で同意し、さらに、5567万円を追加し、総額を52億6317万円とする一般会計補正予算案は賛成多数（賛成8人、反対1人）で、国民健康保険など5特別会計補正予算案は全員賛成で、それぞれ原案のとおり可決しました。定例会ではこのほか、平成21年度の財政状況を示す健全化判断比率および資金不足比率が報告されました。一般質問では、6人の議員が町の政治・行政について町長の施政方針をたずねました。

町税収入額の推移

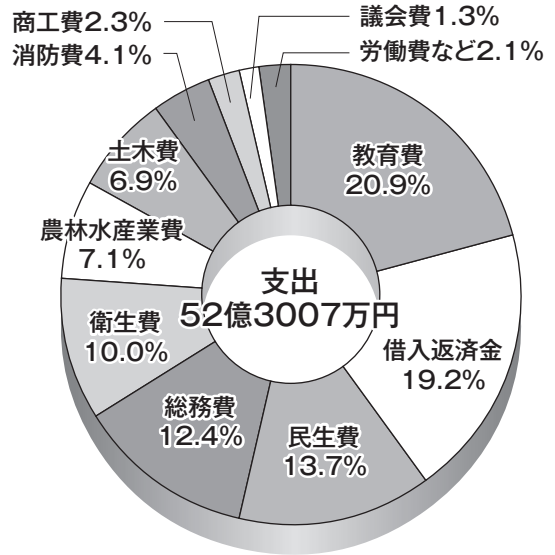
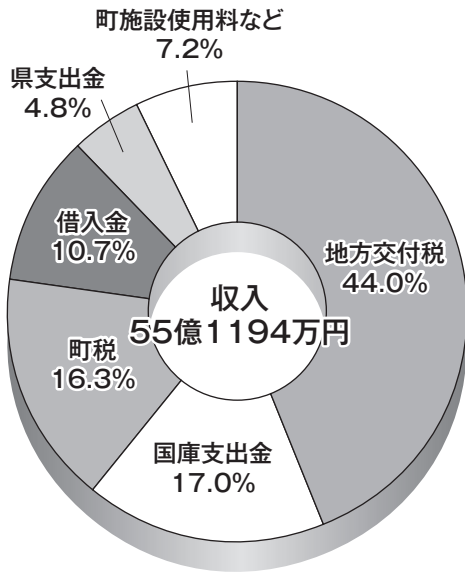


※町税=町民税+固定資産税+軽自動車税+町たばこ税+入湯税

一般会計決算額の推移



平成21年度 町の財源と使いみちは



第3回 定例会 決まった おもなこと

町の借入金の残高(平成21年度末)

60億7734万円

(特別会計、水道および病院事業会計を除く)

町民1人あたり92万円

(平成20年度末では95万円)

人事

◆副町長に高橋久一さん

空席となっていた副町長に、高橋久一さん(吉川)を選任することに同意しました。

高橋さんは、9月10日に就任し、任期は4年です。

補正予算

◆子宮頸がん予防ワクチン接種に130万円

中学3年生を対象に子宮頸がん予防ワクチン接種を行うことになりました。今後、生徒本人や保護者、中学校などと実施に向けて話し合いが行われる予定です。

◆無料温泉入浴券サービスに50万円

10月1日から町内の参加飲食店で1千円以上飲食すると、水沢および大井沢温泉館の入浴券がサービスされています。

これは、高速道路無料化社会実験にともない町内飲食店への誘客をはかることを目的に実施されているもので、期間は11月30日までです。

請願採択

◆米価の大暴落に歯止めをかけるための対策を求める請願

提出者

農民運動山形県連合会

会長 花鳥賊 義廣

紹介議員 渋谷 雄二郎

平成21年度 健全化判断比率 資金不足比率

次のとおり財政指標が公表され、健全段階にあります。

◆実質公債費比率(※1) 18・7%

◆将来負担比率(※2) 79・8%

用語の説明

※1 実質公債費比率
借入金の元利償還金と、それに準じた経費の比重を示す比率で、25%までが健全段階とされています。

※2 将来負担比率
借入金の元利償還金の残高のほか一般会計等が将来負担すべき実質的な負担を捉えた比率で、350%までが健全段階とされています。

質疑応答

決算を集中審査しました

～特別委員会の質疑応答から～

決算特別委員会
委員長 宮林昌弘



一般会計

総務企画

Q 個人情報保護との関係で、高齢者へのポランティアのための情報提供などについて個人情報保護運営審議会で審査すべきでは。

A 担当課で対応を検討したいと考えています。

Q 顧問弁護士に相談した内容は。

A 平成21年度は、(株)米月山などの第三セクターに対する町の支援について相談しました。

Q 町職員の採用に町内居住の住所要件が必要と考えますが。

A 町内から町外へ働きに行っている方もおり、今後、全体を見ながら検討します。

Q 平成21年度の借入返済金10億535万円のうち地方交付税に算入された額は。

A 繰上償還した分などを除く8億5802万円が対象で、その72・2%の6億1951万円が算入されました。

Q 地域の大事な宝として認知されている六十里越街道の取り組み経過は。

A 月山志津温泉旅館組合や観光協会などで保存推進委員会を設立し、出羽の古道六十里越街道シンポジウムを開催するなどして普及、啓発に努めてきました。現在は村山広域観光圏などでも取り組みを進めています。

Q 女医、志田周子の映像化に向けた取り組み状況は。

A 今年が生誕100周年であり、大井沢区や県といっしょに実行委員会を設立し、10月16日には講演会やコンサートを開催しながら県民への周知、さらには映像化へ向けて取り組みを進めています。

Q 総合開発審議会の審議内容は。

A 平成21年度は1回開催し、第5次総合計画の中期実施計画の経過と今後の町のあり方について10人の委員で審議していたできました。

Q 現在敷設している光ファイバーで、地上デジタル放送の難視聴地域対応と小山地区の携帯

電話不感対応は。

A 難視聴地域対応は、放送法や電波法で受信帯帯が500世帯を超えると放送事業者の許可が必要となり、難しいです。自主共聴組合の設立を進めたいと考えています。

携帯電話不感対応は平成20年、電話事業者に光ファイバー使用の意向を調査しました。

なお、光ファイバーは、インターネットの環境整備を第一の目的に敷設しています。

Q 地上デジタル放送の難視聴地域や携帯電話不感地域への対応として光ファイバーを使うことができるという情報を町民に伝えるのが遅いのでは。

A 計画を作る際に、町民と話し合いをすべきでした。今後、年1回は座談会を開催しながら、年間の予定も含めて町の事業の進捗をお伝えしていきます。

Q 水沢および大井沢温泉館の管理運営委託料が3820万円と増えています。赤字補填で

は。

A 増えた要因は、利用料の減や燃料費の高騰などのためで、赤字補填ではないと考えて

います。

町民税務

Q 山形交通の路線バスの利用者数が増えている要因は。

A 平成21年度の延べ利用者数は8280人で、町内では寒河江市内への高校通学、ほかには寒河江市宮内および上野地区の小学校通学が多いと推測しています。

Q 防火貯水槽と、無蓋貯水槽の有蓋化の要望箇所数は。

A 防火貯水槽は、平成22年度に月山沢および稲沢開拓地区で工事を実施しており、これ水利的には十分と考えています。

有蓋化は、平成22年度までに7基が完了し、24基が未整備ですが、人家がないところなどの無蓋貯水槽も含んでおり、整備が必要なものは5基程度と考えています。

Q 平成21年度の町税収入が平成20年度と比較して4480万円減の8億9668万円となっていますが、今後の見通しと税収を増やすための施策は。

A 給与の減額や、団塊の世代

の退職などで給与所得者が減少
しています。見直しは難しいで
すが、産業振興をはかりながら
雇用確保に努めていきます。

健康福祉

Q 保育園の職員体制で、28人
のうち14人が臨時職員の現状は、
公共性が高い施設として不自然
では。

A 国の基準どおりです。西村
山管内や中山町のほとんどの保
育園でも職員の約半数が臨時職
員となっています。ただ、未満
児保育や延長保育などの町単独
の上乗せ保育サービスを行って
おり、子育て支援に力を入れて
いる国や県の状況を見ながら今
後、対応していきます。

Q 一年以上寝たきりの老人の
方を介護している37人の方に激
励金1万円を支給していますが、
今後増えてくることが予想され
支援を充実すべきでは。

A 介護保険の活用と在宅支援
の充実の点で検討します。

Q 身障者協会に入会されてい
ない方に県社会福祉協議会など
が行う障がい者の事業などの情

報が伝わっていないのでは。

A 新規に手帳を交付する際に
説明会等を開催しながら伝えて
います。しかし、入会者は約半
数に止まっており、随時情報を
提供できるように今後、検討し
ます。

Q 介護予防のおもな内容は。

A 水沢温泉館や老人福祉セン
ターで、温泉に入浴しながら運
動したり、折り紙やサークル活
動などを行っています。

産業振興

Q 中山間地域等直接支払制度
のおもな取り組み内容は。

A 共同機械や土壌改良剤の購
入などを行っています。

Q 熊を捕獲するための罠の個
数は。

A 県所有が1個、猟友会およ
び個人所有が11個の合計12個で
す。

Q お土産特産品開発の成果は。

A 平成21年度に120㎏のこ
くわドレッシングを販売し、約
24万円を売り上げました。

Q 新規作物栽培研究の成果は。

A 大井沢地区で夏季にホウレ
ン草を栽培するための種子の選
定、アイスプラントの栽培、ユ
リ根の輪片を使った増殖などを
手掛けました。

Q 町の農産物として奨励して
いく作物は。

A 再生産のための価格補償を
行いながら、くろべえナス、カ
ボチャ、ニンニクを振興してい
きたいと考えています。

Q 朝日連峰登山道の刈払いの
県からの委託料が半額になり、
刈払いできる延長が短くなって
います。町でも対応する必要が
あるのでは。

A 朝日連峰や月山への登山客
が年々増えており、木歩道の補
修も含めて県に要望しています
が、県ではボランティア組織づ
くりを進めています。町でも今
後、対応を検討します。

Q 韓国などの外国人観光客の
町内宿泊者数は。

A 収容能力などの関係で寒河
江市内の宿泊施設といっしょに
対応しています。平成21年度の
観光客146人のうち約3分の

2が月山志津地区、残りが寒河
江市内に宿泊しました。

Q 月山俳句大会の参加者数は。

A 平成21年度は、町外の方も
含めて55人でした。

Q 六十里越街道案内人クラブ
は有償ボランティアですか。

A 食事や交通費程度の負担を
いただいています。

建設水道

Q 人口集積地を形成するため
に行った調査設計の内容は。

A 用地に立ち入り、測量をし
て、概略設計を行いました。

教育文化

Q 西川小学校建設工事の建設
用木材として5460万円で購
入した町産木材の割合は。

A 使用木材量の約85%です。

Q 国内外研修派遣事業の実績
がゼロですが。

A 20歳から50歳までの町内在
住者の技術取得を目的にしてい
ます。平成21年度、1件の申請
がありました。要件に該当し

ませんでした。今後、対象要件
を検討します。

国民健康保険

特別会計

Q 県内でも突出した2億39
00万円の基金を活用して国民
健康保険税を減税すべきでは。

A 今後の医療保険制度の改正
の動向等を見ながら検討します。

公共下水道事業

特別会計

Q 下水道の接続率を上げるた
めの方策は。

A 随時、または座談会等でお
願いしていきます。

後期高齢者医療

特別会計

Q 全市町村から広域連合議
議員を出すべきでは。

A 町村会では、制度の即刻廃
止を要望しています。

住民生活安定のための財源は十分か

町長…制度資金の活用と、第5次総後期計画で十分検討します



建設が進む西川小学校



池上 博 議員

最近、異常気象で災害が多発、災害で住宅が全壊した場合、国は最大300万円のみで補償、最低保障は各自治体が行う必要があります。災害時に備えた町の財源確保は。

自然災害等被災者への支援策は、西川町災害見舞金支給条例にもとづく災害見舞金の支給、災害弔慰金の支給等に関する条例にもとづくものが3種類です。大規模災害では、制度資金の債務保証等や日本赤十字社義援金援助物資等の支援もあります。

西川小学校はあまりにも寒河江川に接近し、大災害に備えた護岸工事は安全安心のため必要不可欠と考えますが、その財源は。

また、安全柵の設置は万全ですか。その予算措置は。

護岸工事は河川管理者の原に要望した結果、本年度

から河川管理用道路測量が行われ、設計を行う予定です。護岸の機能も要望したいと考えています。安全柵は、河川側と敷地内の安全管理上必要な箇所には高さ最低2mのフェンスを設置する予定です。

町民は、西川小学校は避難場所として認識できないとして、西山小学校の体育館を避難場所とし、その維持管理費は町が負担すべきと考えます。

西川小学校は災害状況により避難場所として対応しますが、なお安全性には十分配慮します。廃校の利活用は庁舎内で検討しており、西山小学校体育館はハザードマップや地域支援職員派遣事業による地域住民の意見等を参考に避難場所も含めて検討しています。

町民体育館は耐震化されている



町民体育館

ものの、屋根の腐食が著しく、早急に塗装する必要があると考えますが、さらに高窓ガラス枠も危険であり合わせて対処すべきでは。

町民体育館は、昨年度耐震診断を受けましたが、33年を経過し、体育館の屋根、窓枠等も含め大規模改修が必要です。耐震補強も含む全体改修には、相当な費用を要するため、第5次総後期計画のなかで十分検討し、計画的に実施します。

高速道路無料化の影響と行政対応を どうするのか

町長…実験事業の検証結果を注視し、緊急対策会議で観光誘客拡大を検討します



宮林昌弘 議員



よってけらっしやい西川キャンペーン

月山周辺は影響がないとの話ですが、町を通過するフリー客が大きく減少し、国道沿線の飲食店や売店等に大きな影響が出ています。国道を通過する方々にいかに滞留していただくかが

一 国道沿線の飲食店などの売り上げが半減し悲鳴を上げている実態や、なかには売り上げにはあまり影響がない業種もあるようですが、無料化による問題と実態を現時点でどう捉えているか。

地域経済活性化や交通渋滞緩和などを目的に、高速道路無料化社会実験事業が6月から始まりました。利用者にとっては、メリットがある反面、国道112号沿線の飲食店やガソリンスタンド、直売所などの売り上げが半減する問題が発生しています。無料化問題について質問します。

課題でしたが、あらためて取り組みの必要性、重要性を感じています。

二 高速道路無料化の問題点を県や国にどう伝えているか。

また、無料化社会実験事業は、来年の3月31日まで実施されますが、無料化継続か、廃止かについての意思表示をどう考えているか。

来年3月末日までの無料化実験事業期間ですが、メリット・デメリット両面があり、

補っていくかも知れぬ、いろいろな方々のご意見や周辺市町の状況、国の実験事業の検証結果も注視しながら今後の対応を考えていきます。

三 国道112号の通過客を取り戻すことや観光客を誘致するために、本町をさらに魅力ある町にして、「行ってみたい町づくり」や本町ならではの名物料理など、ピンチをチャ

ンスにするために、この機会を町の活性化と産業振興、観光立町に真剣に取り組むべき時期と考えますが、町長の見解は。

緊急対策会議を設置し、寒河江サービスイリア内での観光宣伝、インターチェンジ付近への誘導看板設置、月山山菜そば割引券発行などを実施しましたが、重要なのは魅力づくりです。町の多くの資源を活用し事業に取り組むことが誘客拡大につながると考えています。



通行量が減少した国道112号

高齢社会のなかで 安心な生活支援策の強化を

町長…今後もサービスに努め、協働事業のなかで計画的に進めます



高齢者大学園芸クラブ



青山知教 議員

全国を震撼させた多数の高齢者所在不明事案は、あらためて地域社会、家族のあり様、行政制度など重い課題が問われています。都市部に限らず身近な地域でも家族の孤立化が進んでおり、高齢者も安心できる生活支援策を4点にしぼり質問します。

地域福祉の担い手の民生児童委員に協力できる町内会単位の福祉推進員の体制づくりと、社会福祉協議会の地域活動の連携見守り強化策は。

支援策は、民生児童委員や福祉町内会活動などでの見守りや訪問等で安心安全の確保をはかり、夜間は緊急通報システムで対応しています。災害時は、要援護者避難支援プランにより安心安全を確保しています。今後もニーズ把握や方策を検討します。

将来、高齢者が孤立しない、させないために、趣味や軽スポーツ、老人クラブの活動など共に生きる仲間づくり活動が重要です。現況と奨励策は。

主な事業は、高齢者大学、婦人教室、芸術文化団体活動、歴史文化学習会など、スポーツ面ではゲートボールやグラウンドゴルフ、軽スポーツ出前教室、4月からスポーツサポート西川も始まりました。今後も各団体と協働して事業を実施します。

高齢者の通院や買い物などで交通の利便性が重要ですが、新交通体制計画では、やさしい交通施策をどう捉えていますか。

通院は町営バス利用や自家用車です。透析等の患者には交通費助成、重度障害者と要介護2以上の方には補助を実施しています。買い物は簡単な家事援助、買い物を提供するサービスも行っています。今後もニーズ把握やサービスに努めます。



睦合区民大運動会

介護サービスを受けるようになって、つなぐは大切です。小規模の「地域密着型事業」を町内3か所程度で展開すべきでは。

地域密着型サービスは、認知症や軽中度の要介護高齢者等ができる限り住み慣れた地域での生活が継続できるように創設されたサービス体系です。利用者のニーズにきめ細かく応えられる様々な施設とサービス体制があり、次期介護保険計画時までに検討します。

ナラ枯れ撲滅の決意は

町長…重要な資源、財産である緑の森林を全力で守ります



佐藤 征男 議員



ナラ枯れ駆除薬剤注入

す恐ろしいものです。被害を初期に撲滅させることが欠かせません。自然は本町の観光の宝で、ナラ枯れによる環境の悪化は大きな打撃になります。ナラ枯れを終息させるためには、緊急な努力が必要不可欠ですが、本町の状況と撲滅のための決意は。

本町では、平成16年に弓張平公園とその周辺に発生し、県と森林管理署と協議しながら防除に努め、被害拡大を食い止めて

ナラ枯れの被害が県内でも庄内、置賜、村山地方で進行しているようです。

本町でも昨年、間沢川地域で千数百本のナラ枯れ被害木があったと聞いています。今年も8月末ごろから点々とナラ枯れが見られます。これは、カシノナガキクイムシがナラやカシワ、クリ等の樹木に進出し、すぐに根まで枯ら

きました。しかし、平成21年に、大井沢、綱取、間沢、沼山、吉川、熊野の広範囲に発生、1千本を越す被害があり、本年度は6月に駆除したものの、さらに被害は拡大しています。雪と緑と太陽の町を標榜する本町にとって、緑の森林は重要な資源、財産であることはいまでもなく、当然全力で守っていかねければならないと考えています。

本町には国有林もあり、林野庁でもナラ枯れには対応されていると思います。林野庁や近隣市町とも連携してナラ枯れの早期終息を期待していますが。

ナラ枯れは日本海側を中心に発生し、現在秋田県が被害の北限です。山形県では、平成3年に旧朝日村で発生して以来、年々、点的被害から面的被害へ移行し、最近では最上地方、置賜地方に進行し、その被害が県内一円に拡大しています。ナラ枯れ被害が大きい山を見ますと、非常に残念であり、自然環境の大切さを痛感します。今後は、県や森林管理署と十分連携をとりながら駆除を実施し、国には機会あるごとに緑の大切さを訴え、駆除対策を要請します。



杉の美林

まちづくりの基本は町民参画で

町長…地区の要望、各団体の意見集約をもとに進めます



町長と語る会 (海味地区)



渋谷 雄三郎 議員

後期計画は町民の声をもとに

町では第5次総後期計画を作るために集落座談会を計画していますが、どういう手法で行うのか。

また、町民の意見や要望をこれからのまちづくりに活かしていくのか。

さらに拠点地整備や定住人口促進のために今後、何に力を注いでいくのか。

計画策定は概案を町民に示し、

地区の要望、各種

団体との意見交換

も実施、議会とも

協議し、町民の意

見要望の反映手法

は調査検討します。

定住促進の原点

は、町民とのまち

づくり、拠点地整

備は、人口流出の

歯止め、町外から

の移入も考えてい

ます。

町独自の特産品

振興を

総合産業化の具

現化の実態は。

とくに産業振興、農業の振興策をどう考えているのか。これまでの少量多品目の方針で進むのか、それとも町独自の特産品振興に力を注ぐのか。

総合産業化は他産業との

融合による農業の6次化を

めざし、所得向上、加工

流通、販売、交流人口拡大

に取り組みます。農業振興

は、東部、中部、西部地区

に分け、直売所販売向けの

栽培体系、少量多品目を奨

める一方、最重点作物の産

地づくりを進めます。

高速道路無料化が深刻

は。高速道路無料化の影響と対策

誘客のための短期的な緊急対策を現在取り組んでいます。重要なのは魅力の創造です。

飲食店や売店などでは特色ある商品の開発、また町ならではの多くの地域資源を活用し、これらを有機的に結びつけ誘客拡大に取り組んでいきます。

地域づくりはそれぞれの地域にあったものを

地域支援職員派遣事業は5年目を迎えているが、その実態は今後もこのまま進めていくのか。

地域の要請により、全地域に今年1年間職員を派遣、各地域で活動を支援しています。町の活性化や協働の観点から職員とともに活動、支援が必要であり、今後は、地域の要請により地域計画などの策定支援や地域活動への財政的支援も検討します。



教育旅行農作業体験

人口減少にもなう弊害と対策は

町長…町職員の来年度採用は、町内定住を勧めたい



古澤 俊一 議員



にしかわ保育園チビリンピック

採用された町職員は町内定住を

各自自治体ともに財政難の折、行政職員の退職者数に比べて採用が少人数になっています。公務員への就職希望が非常に多いなか、これからの採用で町内定住を条件にすべきでは

以前、広く優秀な人材を求めたために住所要件を撤廃した経緯があり

ます。資格が必要な職種は応募が少なく住所要件を付けるのは難しいですが、来年度採用分は面接の折に西川町に住んでいただくよう勧めたいと考えています。それ以降は検討します。

総務省の「買い物難民」が600万人

販売者と購買者のニーズの違いもあり、商店等が相次いで閉店しています。高齢化社会とも相まって買い物が不便になって

きている現状であるが、将来に向けた対策は。

町内商業活性化事業として、商工会と連携し、月山フレカ事業やプレミアム付商品券事業などを実施しています。

高齢者への買い物環境整備ではシルバーファミリースポーツ事業なども行っています。今後の支援策は調査し対応します。

公共施設の将来の運営を円滑に

これからの人口減少で公共下水道や集落排水事業が将来、財政を圧迫しないのか。

また、接続率の向上をどう捉えているのか。

接続率は、公共下水道63・8%など、いずれの施設も100%に至りませんので、今後とも接続をお願いしていきます。人口減少が続けば、料金収入も減少するため、経営状況を見ながら対応せざるを得ないと考えています。

少子化解消に時間がない

未婚者の増加とともに結婚適

齢期が上昇しています。相対的に大きな人口規模をもつ「団塊世代のジュニア」が30代後半を迎えているなかで、ブライダルサポート事業の動きが一向に見えないが、今後の方向性は。

結婚支援は、推進員を中心に相談や仲人活動を行うこととしていますが、相談が少ない状況です。各種イベントも紹介していますが、今後は町内外を問わず他自治体や各種団体と組んで積極的に出合いのイベントを行いたいと考えています。



西川浄化センター

うごき



9月定例会傍聴席

臨時会

7月13日(第2回)

上水道の高度浄水施設整備に
5億6175万円

ネズミやネコなどに寄生するクリプトスポリジウム等の病原性原虫対策や水源水量の減少による水不足を解消するために、水沢地内の浄水施設の整備工事について、全員賛成で次のとおり決まりました。

工事は、平成25年3月完成予定です。

金額 5億6175万円
相手方 扶桑建設工業(株)仙台支店

8月9日(第3回)

教育委員に奥山秀征さん

空席となっていた教育委員に、奥山秀征さん(海味)を選任することに賛成多数で同意しました。
また、奥山さんは、8月11日の教育委員会で委員長に選任されました。

除雪機械、路線バスを購入

除雪ドーザー1台(9トン級車輪式)、路線バス1台(29人乗り)の購入について、全員賛成で次のとおり決まりました。

☆除雪ドーザ

金額 1333万5千円

相手方 コマツ山形(株)山形支店

☆路線バス

金額 858万9千円

相手方 太平興業(株)山形支店

グラウンドゴルフ場を整備

西川河川公園(西川中学校裏)にグラウンドゴルフ場を整備するための事業費2646万円を追加するなど、総額を52億750万円とする一般会計補正予算案を全員賛成で原案のとおり可決しました。

常任委員会

産業建設常任委員会

8月5日

総合産業化推進の調査

農産物加工施設が必要

総合産業化の推進について、産業振興課および西川町総合開発(株)から説明を受けました。
産業振興課からは「町内産農産物の販売拡大のために総合産業化を推進している。今後、農産物の加工に力を入れて、雇用の創出にも結びつけていきたい。また、かつては資源を活かした観光が主であったが、現在では町内の生活文化や農業を活かしながらがんばっている」との説明がありました。

意見交換では、「直売所の年間売上高が5千万円以上は期待できないなかで、農産物加工施設は必要である。個人や集落単位の加工施設では高齢化が訪れてくるので、本町の産業の中心である西川町総合開発(株)で加工施設を運営できないものか」などの意見が出されました。

また、6月28日から実施されている高速道路無料化社会実験の影響についても話し合われ、「国道112号の通行量が激減し、町内で困っている飲食店などがある。しかし、月山や予約をして来るところなどでは影響が少ないようだ」などの発言がありました。

当日は、意見交換に先立ち、月山湖売店や川雉魚水族館を調査しました。



月山湖売店

9月8日

請願の審査

9月定例会で付託された次の請願を審査し、賛成多数で採択としました。

「米価の大暴落に歯止めをかけるための対策を求める請願」

議会の



綾部市で栽培しているフキ、サンショウウ、ミヨウガ

所管事務調査計画

10月14日に大井沢農作業受託組合と意見交換することを決定しました。

総務厚生常任委員会

9月8日

所管事務調査計画

10月1日に朝日町の光ブロードバンド、10月13日に村山市の産業プラザを視察研修することを決定しました。

広報公聴常任委員会

西川町議会だより(74号)の編集

9月8日(編集会議)

9月24日(レイアウト)

10月1日(初校)

10月5日(二校)

10月8日(三校)

行政調査報告

7月20日～22日

京都府綾部市の「水の里条例」による集落維持および振興策、定住サポート事業」、同じく南丹市の「グリーンツーリズムの取り組み」を調査しました。

水稲の倍以上の収入

綾部市は、京都府の北部、丹後地方に位置し、人口3万7千人、面積347km²で、市中心部を除く地域の過疎化に悩んでいます。

平成18年4月に水源の里の取り組みを考える会を発足、同年12月に条例を制定し、19年から5か年間、事業が実施されています。市役所から25km以上離れた高齢化率が60%以上かつ世帯数が20戸以下の集落、5地区を水源地域に指定し、市が財政面などで支援しています。

そのなかの一つの地区を案内していただきましたが、この地区では、3月のフキノトウの収穫に始まり、晩秋には和紙の原料である楮の収穫まで年間を通して収穫し、水稲の倍以上の収入があるということでした。

水源地域の農業政策は、それぞれの地区で以前から生産している作物に、5地区が異なる新

しい作物を加えて生産しています。人口対策は永遠のテーマで、地域独自に考え行動しなければならぬと考えさせられました。(総務厚生常任委員会副委員長 松田 昌一)

かやぶき民家の景観を伝承

南丹市は、平成18年1月に4町が合併し市制を施行し、その一つ旧美山町を訪れました。

旧美山町は、観光では「日本の田舎づくり」などとしてテレビや雑誌で幾度となく紹介されている京都府のほぼ中央に位置した人口4500人の町です。面積の96%が山林で、最近では、都市との交流グリーンツーリズムなどを積極的に進めて、年間約70万人の観光客を集め活躍を見出しています。

旧美山町では、昭和40年代から200棟ほどのかやぶき民家の保全に取り組んでいます。都市と農村の共生体験や交流活動などのきっかけづくりとして、京阪神の美山ファンを中心に組織した「かやぶきの里美山と交流する会」の基金も増え続けており、景観保存事業や伝承活動かやぶき職人の育成に活用して

いました。

先人たちが大切にしてきた地域固有の景観を伝承し、個性あふれる山里の再構築をはかる姿に、住民の地域を愛する誇りと努力を強く印象づけられました。(産業建設常任委員会副委員長 青山 知教)



旧美山町(南丹市)のかやぶき民家集落

うごき



大井沢火祭り

議会運営委員会

■ 7月9日

第2回臨時会（7月13日）の運営について決定しました。

■ 8月2日

第3回臨時会（8月9日）の運営について決定しました。

■ 8月24日

第3回定例会（9月2日）10日（）の運営について決定しました。

議会全員協議会

■ 8月9日

議会報告会の開催を決定

本町議会の審議内容などを町民に報告し、町民の意見や要望を今後の議会活動につなげることを目的に、10月18日から28日までの間、町内13か所で議会報告会を開催することを決定しま

した。（詳細は15ページ参照）

■ 9月8日

第5次総合計画の後期計画に町長と語る会の意見を反映

第5次総後期計画の方針について町から説明がありました。

第5次総合計画は、協働のまちづくりで豊かさ自立をめざすことを基本理念に平成16年に作られました。

町では現在、平成23年度から25年度までの後期計画を作っており、9月16日から10月7日まで開催した町長と語る会で出された意見などを反映し、指標を設定するなどして町民がイメージできる具体的なまちづくりの計画を作るとしています。

おもな方針は、次のとおりです。

☆人口と土地利用

雇用促進住宅（睦合）の購入を含めた町全体の住宅施策や町道間沢海味線沿線の拠点地形成事業の検討、実施

☆町民の所得向上

農業を基幹産業に位置づけ、町内の農産物や加工品を提供し、町内滞在を促進するなどして総

合産業化を推進

☆自然と誇りを育む学習と実践

西川小学校（平成24年度開校）と西川中学校での小中一貫教育の展開、町民や来町者が本町の自然を学べる体制の整備

☆安全、安心、安らぎのある生活

流雪溝の整備、克雪住宅の支援、町内の商店等の閉店にともなう日用品購入対策の検討、地震や大規模災害を想定した防災訓練の実施

☆美しく快適な生活環境

上水道の高度浄水施設整備、水力発電等のクリーンエネルギーの検討、橋梁長寿命化対策

☆生涯にわたる保健と医療福祉

高齢者が在宅で過ごせるような介護や地域支援体制の検討、医療従事者の確保や高度医療機器の定期的更新などに努めながら町立病院を充実

☆町民と行政の信頼と協調

新たな町民参画および人材育成、光ファイバーの敷設を活かして情報の一元化体制を整備

西川小学校の校章は10月中、校歌は平成23年3月に決定

西川小学校開校に向けた準備状況について町から説明がありました。

町では、全国から校章を公募し、町内児童生徒も含め116点の応募がありました。現在審査中で、10月中には決定したいとしています。

また、ビリーブの編曲などを手掛けた富澤裕（とみざわ）さんに校歌の作詞、作曲をお願いしており、平成23年3月に決まる予定です。現在進められている校舎および体育館の新築工事は、今年の11月完成予定です。



西川小学校建設現場



月山山開き登山

議会の

老人保健施設から特養ホームへ転換

老人保健施設ケアハイツ西川の特別養護老人ホームへの転換工事について町から説明がありました。

工期は8月13日から11月30日までで、工事費および設計監理費等の総事業費は1億6453万5千円です。

町では現在、総事業費の負担についてケアハイツ西川と協議中で、12月の本町議会定例会までには結論を出したいとしています。

100歳以上の戸籍上の生存者25人

全国的に話題になっている、100歳以上の高齢者の戸籍上の取り扱いについて町から説明がありました。

本町には、住民票がないにもかかわらず戸籍に生存の記載がある100歳以上の高齢者が25人います。

町では、戦中戦後の混乱による戸籍届の未提出などや、戸籍届が提出された市町村からの未送付がおもな原因とし、現在、

戸籍を整理するために調査しています。

村山地方町議会議員研修

議会や議員の活動の透明化が求められる

村山地方町村議会議長会主催の議員研修会が9月27日、西川交流センターあいべで開催され、本町議会議員全員を含む約100人が参加しました。

研修会では、山形大学人文学部教授の金子優子さんから「『地域主権』改革と地方議会」と題して講演がありました。

金子さんからは「山形大学の学生に、議員は専門職型、ボランティア型、どちらが望ましいか書かせたところ、半々であった。地方自治の概念として団体自治、住民自治があるが、これからは住民自治の改革が進められ、その中心は地方議会のあり方である。議会や議員の活動を透明化し、情報提供や、議会組織としての議会報告会の開催など住民と協働の取り組みが重要になってくる」との話がありました。

議会報告会へのおさそい

本町議会では、議会の審議内容などについて報告し、意見や要望をこれからの議会活動につなげていくために、初めての議会報告会を開きます。

この「西川町議会だより74号」をご持参のうえ、ぜひご参加ください。

期 日	時 間	地 区	場 所
10月18日(月)	午後7時から	大井沢	大井沢交流センター
	午後7時から	睦合	睦合公民館
10月19日(火)	午前10時から	志津	志津会館
	午後7時から	海味	海味公民館
10月20日(水)	午後7時から	吉川	吉川地区研修センター
	午後7時から	本道寺	本道寺地区集会センター
10月21日(木)	午後7時から	岩根沢	岩根沢公民館
	午後7時から	入間	入間公民館
10月22日(金)	午後7時から	間沢	間沢公民館
	午後7時から	沼山	沼山多目的集会センター
10月27日(水)	午後7時から	綱取	綱取公民館
	午後7時から	水沢	高齢者コミュニティセンター
10月28日(木)	午後7時から	小山	小山児童館

短歌

はたらく人の独り言

古澤 登 さん (82歳)
(沼の平町内会)



柁におさむる吾子見おさめて
釘を打つ時いたり車の出でむ
とすれば

これは昭和29年、翌春に小学校入学を控えた長男を亡くしたときのことを詠んだものです。長男の死をきっかけに、当時発行されていた青年団報に短歌を掲載し、読んでくださった渡邊花子さんの紹介で結城哀草果先生の指導を受けるようになったのが短歌との出会いです。

幼少のころから東京に憧れ、昭和19年、立川飛行少年学校に入学しました。しかし、間もなく終戦。戦後は、飛行少年学校を卒業していたので階級がもたらした警察予備隊（現在の自衛隊）に入隊しなかったのですが、兄が戦死したので、跡を継がざるを得ませんでした。わずかな稲作のほか、炭焼き、木材の集材などで日々の生活を送っていたときに、疎開されていた丸山薫先生との出会いがありました。また、那須貞太郎先生から文学の話を知りたりしていました。いまになって考えると、無意識のうちに、お二人の影響を強く受けていたのかなと思っています。

親が病弱で、とくに母親の治療費が必要になり冬季間、東京に出稼ぎに行かざるを得なくなりました。昭和41年のことです。出稼ぎの歌を特選に拾い上げていただいたのが近藤芳美先生です。先生は戦後の歌壇を牽引する歌人として活躍され文化功勞者に選ばれた方です。出稼ぎ期間中は月一回、先生が主宰される歌会「未来」に通いました。

先生は、平成18年に亡くなられましたが、「短歌には人生がないと駄目だ。君の歌は下手だけれども上手な歌を作ろうと思うな」と教えを受けました。また、歌会では仲間と飲み明かしながら議論しました。お互いに評価しないと刺激がないのは、短歌に限らず、すべてにいえることではないでしょうか。約40年間、出稼ぎに行きましたが、歌会が目的であったようなものではありません。仲間の協力を得ながら、歌集「鈴音」「銚子」を発刊しました。人生や職場、そして生き方を詠い続けてきた短歌は、心のより所です。

子を三人逝かせし人生ふりむ
くな桜咲き散る山田代かく

74号の表紙

かじが高いな



9月5日、白熱すること有名な吉川区民大運動会と同時開催された「川土居小学校紅白対抗大運動会」軽快なリズムの鼓笛隊を区民に披露し、まり

入れば1年生から3年生まで力を合わせてがんばりました。川土居小学校は明治9年の創立。校章は、月山の「黒ゆり」と吉川の山に咲く「ひめさゆり」を交互にデザインし、「豊かに、美しく、清らけく」の願いが込められており、昭和41年に制定されました。

編集後記

「この暑さはいつまで続くんだべ」こんな会話が聞いた昨日。

「暑さ寒さも彼岸まで」今年の西川町は、まさにそのとおり。

めっきり涼しくなり、世の景気も冷え込み、国はねじれ国会のなか菅首相が続投しました。国内外に問題が山積しており、政治空白のない運営を願うところです。

本町議会では、初めての議会報告会を10月18日から、全議員が2班に分かれて町内13地区で開催し、今後の議会活動に活かしていきます。

少子化が進み、長寿社会のなかで、いま以上のいたわり、思いやり、支えあえるまちづくりが求められています。寒い季節をむかえ、ご自愛ください。

(古澤 俊一)

発行・編集責任者

議長 黒坂 久一

編集委員

- 委員長 宮林 昌弘
- 副委員長 古澤 俊一
- 委員 青山 知教
- 委員 松田 昌一

議会へのおさそい

皆さん傍聴してみませんか

次回定例会は
12月です